

新しいバスターミナルの設置による バスサービス改善について検討を進めています！

第4回策定委員会では、第3回策定委員会で議論した「乗合交通整備の基本的な考え方」の一つ、『新しいバスターミナルの設置によるバスサービス^注の改善』について、必要性・利点・課題などを具体的に検討しました。

これは、茅ヶ崎市のまちづくり全体に関わる施策であり、市民生活にも大きく関係します。そのため、運行の仕方や運賃の仕組みの工夫などによって、利用者の時間的・金銭的・精神的な負担を増やすことなく、より便利で快適なバス路線網を整備することが本当に可能かどうか、また、駅前の賑わい創造などのまち全体への効果はどの程度期待できるのか、などについて試算を行いながら、引き続き検討を行います。

注 バスサービス：市全域の路線網、運行経路、運行頻度、運行時間帯、運賃等

なぜ新しいバスターミナルの設置による バスサービスの改善が必要な理由

新しいバスターミナルの設置は、バスサービスの改善のための取り組みのひとつです。
新しいバスターミナルの設置によるバスサービスの改善が必要な理由は、下記の通りです。

人と環境に配慮した茅ヶ崎の顔となる玄関口、市民が集う空間を確保したい！

- ・ 今、茅ヶ崎駅前には、多くの市民が集まり、また茅ヶ崎市の玄関口でもあります
- ・ しかし、自動車があふれ、人や自転車が安心して通行できる、集える空間ではありません。

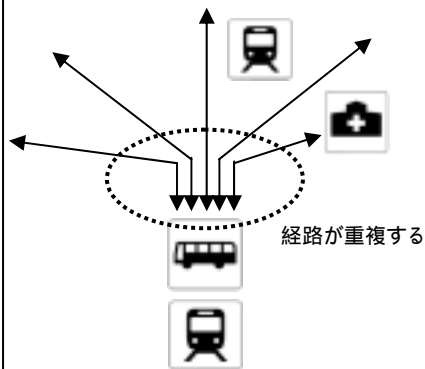
幹線となる路線の運行頻度を高めたり、支線となる新しい路線を運行したい！

- ・ 今、茅ヶ崎駅一極集中のバス路線設定のため、経路が重複した非効率な運行形態です。
- ・ 既存バスターミナルは今でも発着台数が多く、これ以上運行台数を増やせません。

バス運行の定時性を向上したい！

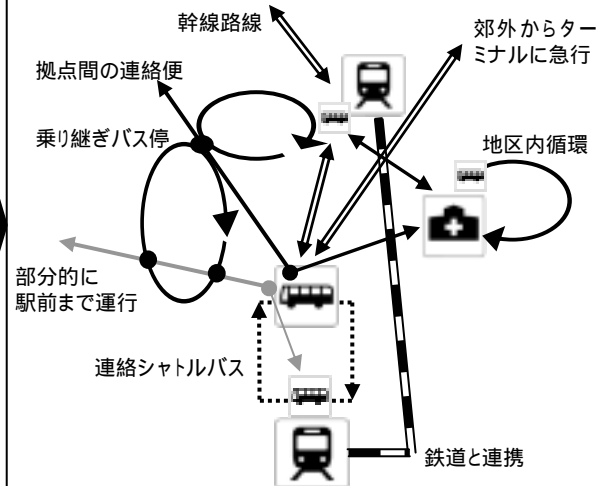
- ・ 今、国道1号線の茅ヶ崎駅前交差点や一里塚交差点などの渋滞の影響で定時運行できません。
- ・ このため、運行台数を増やすと国道1号の渋滞に拍車をかけ、ますます定時性が悪くなります。

現在のバス運行形態



ターミナル機能は茅ヶ崎駅の1箇所
茅ヶ崎駅への一極集中の路線設定
駅付近は重複運行

新しいバスターミナル設置後のバス運行形態イメージ



茅ヶ崎駅と市役所付近の2箇所ので一体的なターミナル機能を確保(シャトルバス、直行便運行)
市立病院や香川駅などをミニターミナル化
路線間の乗り継ぎ用バス停を設定
茅ヶ崎駅以外の複数の拠点に路線設定
駅付近の路線を集約して運行

新しいバスターミナルの設置による バスサービス改善の利点・課題と今後の方針

利点

集いや賑わいのある茅ヶ崎駅前を創造することができ、特色あるまちづくりにつながります。駅前バスターミナルでの混雑を緩和することで、バスの運行頻度を高めることができます。現在の運行頻度向上のみならず、自動車利用から転換する分の交通需要にも対応できます。単純に運行台数を増加するよりも経済的にバスの運行頻度を高めることができます。茅ヶ崎中央通りのバス交通量を少なくすることができ、環境への悪影響も少なくなります。渋滞に巻き込まれる区間を除いた運行により、1回の運行およびバス路線網全体の定時性・確実性が高まり、バスに対する信頼を向上することができます。運行経路の変更、運行台数の削減（効率輸送）により茅ヶ崎駅前交差点および一里塚交差点への交通負荷を減少させ、国道1号の渋滞を緩和します。

課題

茅ヶ崎駅（最終目的地）直前での降車、乗り継ぎが必要となり、精神的な抵抗感や、時間的なロス、乗り継ぎ時の物理的・身体的な障害（車両間の移動にともなう歩行や段差）運賃の支払い総額の上昇（初乗り運賃の2重支払）や清算の煩雑さが生じます。運行経路が変更されたり、路線が統合されたりすることによって、利用形態が変更されます。新たな施設整備と施設維持管理経費がかかります。

今後の方針

『新しいバスターミナルの設置によるバスサービスの改善』は、茅ヶ崎市のまちづくり全体に関わる施策であり、市民生活にも大きく関係します。

そのため、運行の仕方や運賃の仕組みの工夫などによって、利用者の時間的・金銭的・精神的な負担を増やすことなく、より便利で快適なバス路線網を整備することが本当に可能かどうか、また、駅前の賑わい創造などのまち全体への効果はどの程度期待できるのか、などについて試算を行いながら、引き続き検討を行います。

茅ヶ崎市都市部都市政策課

〒253-8686 神奈川県茅ヶ崎市茅ヶ崎1丁目1番1号
TEL 0467-82-1111（内線 2503・2504）
FAX 0467-57-8377